

7月12日は人間ドックの日 ペットの健康診断に関するアンケート調査

66.5%のペットが定期健診を受診、人の受診率を超える

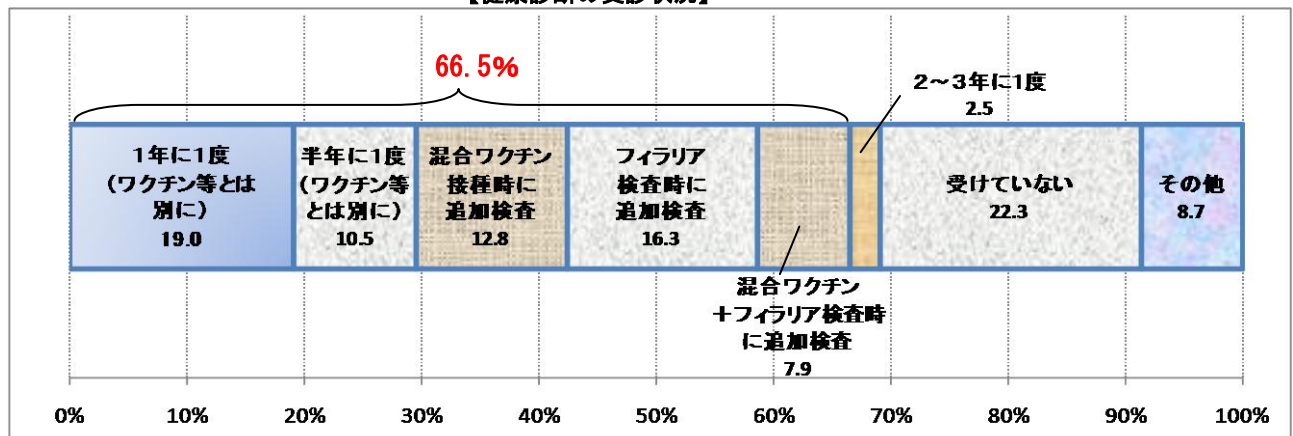
- 人の受診率は61.5%(平成19年国民生活基礎調査より)
- 22.8%で疾病が発見される！人と同じく「早期発見・早期治療」に効果あり

7月12日の人間ドックの日(※)にちなみ、アニコム損害保険株式会社(代表取締役社長：小森伸昭)では、インターネット上で、ペットの健康診断に関するアンケート調査を行いました。

■定期的に健康診断を受診しているのは66.5%

定期的に健康診断を受診しているかを聞いたところ、1年に1度以上受診していると答えた方は、66.5%で、「受けていない」方(22.3%)を大きく上回り、人の健診(健康診断や健康診査)や人間ドックの受診率61.5%(厚生労働省 平成19年国民生活基礎調査)をも上回る結果となりました。

【健康診断の受診状況】



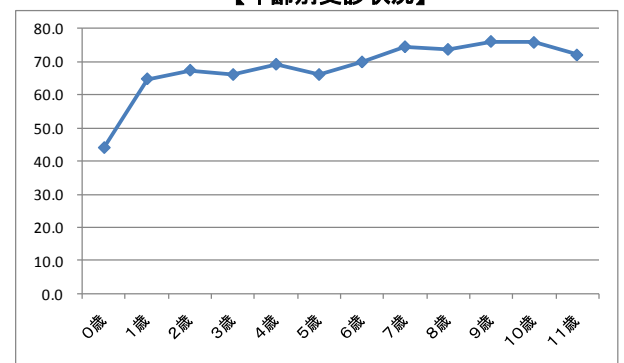
■7歳を過ぎると70%以上が受診

年齢別の集計では、7歳を過ぎると70%以上が定期的に健康診断を受診しており、高齢のペットの飼い主ほど、よりペットの健康を気遣っていることがわかります。

■受診理由のトップは「わが子が心配だから」

健康診断を受診したきっかけを聞いたところ「年齢が高くなってきたのでわが子が心配、様子が気になるようになったから」と答えた方が993名と最も多く、次いで「動物病院ですすすめられたから」という方が978名という結果になりました。

【年齢別受診状況】



健康診断を受けたきっかけ(複数回答)	人数(人)
年齢が高くなってきたので、わが子が心配、様子が気になるようになったから	993
動物病院ですすすめられたから	978
先住どうぶつの経験から	307
ペットショップですすすめられたから	62
友人、知人にすすめられたから	43
その他	267

■一般身体検査、血液検査を半数が受診

受診した健康診断の内容を聞いたところ、半数を超える方が「一般身体検査」「血液検査」を受診しており、「エコー検査」や「心電図検査」を受けている方もみられました。その他には「アレルギー検査」「体脂肪検査」という近年人間でも増加傾向にある検査の受診もみられました。

また、1年間にかかる健康診断の費用の平均は7,712円でした。

受診した健康診断の内容(複数回答)	人数(人)
一般身体検査	1,696
血液検査	1,678
糞便検査	640
尿検査	442
レントゲン検査	365
エコー検査	210
心電図検査	121
その他	76

■今後も受診させたい飼い主は9割

今回のアンケートでは、全体の22.8%にあたる706名が健康診断で病気が見つかったと答えています。人間と違い、自分の言葉で症状を訴えることができないペットは、定期的に健康診断を受診することが病気の早期発見、早期治療につながります。

今後の意向については、「受けさせたい」「どちらかという受けさせたい」という方の合計が9割を超えており、飼い主のペットの健康に関する意識は、ますます高まっていくものと思われます。

今後の意向	人数(人)	割合(%)
受けさせたい	2,142	69.2
どちらかという受けさせたい	658	21.3
どちらかという受けさせたくない	18	0.6
受ける予定はない	139	4.5
その他	137	4.4

【調査方法】アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」契約者に対し、インターネット上でアンケートを実施

【実施期間】2010年7月2日～7月6日 (有効回答数3,094)

※人間ドックの日 病気を発病する前に、早期発見、早期治療の観点から、様々な部位を総合的に検診しようという目的で1954年(昭和29年)に国立東京第一病院(現在の国立国際医療センター)で人間ドッグが始められたことを記念して制定された。